

# 熊本地震被災地へ派遣

## 高山赤十字病院は救護班

熊本地震の被災者を二十三日間、高山赤十字病院は二十二日か支援しようと、高山赤十字病院は二十三日間、医師ら八人



でつくる救護班を熊本県内に派遣する。日赤県支部の職員二人を合わせた十人態勢で、負傷者の手当をしたり、風邪をひいた人の治療をしたりする。

十九日に高山市天満町の同病院で出発式があり、班長で救急部長の加藤雅康さん(四六)らがあいさつ。加藤さんは二〇一一年の東日本大震災の発生直後も救護班として、岩手県陸前高田市に派遣された。「医療活動だけでなく、手伝えることは何でもやりたい」と意気込んだ。

救護班とは別に、外科医の末次智成さん(二七)が熊本市の熊本赤十字病院に二十一―二十五日まで派遣。救急外来を手伝う予定だという。(清水裕介)